

入学者選抜方法

(1) 一般選抜

本学，他大学を問わず，学部を卒業又は卒業見込みの者，学部を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた者を対象に入学試験を行う。入学試験では，アドミッション・ポリシーに定める資質・能力を十分評価できるよう，筆記試験及び面接試験を実施する。

① 筆記試験

スポーツ・健康分野における基礎問題（基礎的知識，論理的思考力，文献読解力を測る）を課すとともに，英文和訳問題を課し，修士論文に最低限必要な語学力の判断・評価をするための語学試験（英語）を実施する。

② 面接試験

将来についての構想，学習の意識・意欲，大学院在学中の生活設計などについて面接試験を実施する。

(2) 社会人選抜

一般選抜とは別に，スポーツ・健康分野に関連する経験を有する社会人を受入れるため社会人選抜を実施する。学部卒業後 2 年以上の実務経験ないしは活動経験を有する者，または，高等学校卒業後 4 年以上の実務経験ないしは活動経験を有する者で大学を卒業した者と同等以上の学力及び能力を有すると認められた者。社会人選抜では，アドミッション・ポリシーに定める資質・能力を十分に評価できるよう，筆記試験及び面接試験を実施する。

社会人選抜では，筆記試験において，スポーツ・健康分野の基礎的な知識に加え，これまでの職務経験を通じてどのような取り組みをし，どのようにスポーツ・健康分野への関心や認識を醸成してきたかといったことを評価する。

本研究科は，「第 7 大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例の実施」の項で述べたように，「大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例」及び「長期履修制度」を導入し，社会人が就業を継続しながら大学院において学修するための教育的な配慮を行う。

① 筆記試験

スポーツ・健康分野における基礎問題（基礎的知識，論理的思考力，文献読解力を測る）を課すとともに，これまでの職務経験に関する問題を課し，どのようにスポーツ・健康分野への関心や認識を醸成してきたかといったことを判断・評価するための試験を実施する。

② 面接試験

将来についての構想，学習の意識・意欲，大学院在学中の生活設計などについて面接試験を実施する。